

○普及に移す技術

[タイトル] アスパラガス伏せ込み促成栽培における 1 年株養成に用いる肥料の選定

[要約] 品種‘ウィンデル’を 4 月上旬に定植する場合、基肥に BB 肥料（窒素施用量 22.0 kg/10 a）を施用することで、LP 肥料と同等の根株重、若茎収量を確保することが可能である。LP 肥料を用いることにより 10 a 当たりの肥料費が約 40%低減する。

[キーワード] アスパラガス、伏せ込み栽培、施肥

[担当場所・課] 農林水産総合技術センター・園芸研究所・野菜課

[連絡先] 電話 0763-32-2259

[背景・ねらい]

県内のアスパラガス伏せ込み促成栽培は、4 月に露地ほ場へ定植し 11 月頃に根株を掘り取る作型であり、露地ほ場での株養成期間が長いことから基肥として被覆尿素配合の LP 肥料（LP100 配合）を用いているが、安価な BB 肥料について検討した。

[成果の内容・特徴]

- 1 基肥に BB 肥料を施用しても掘り取り時の根株重は 2,000 g 以上となり、LP 肥料を施用した場合と同等となる（図 1）。
- 2 収穫時の若茎 1 本重および若茎数は同等であり、株当たり若茎収量も 300 g 以上と同等となる（図 2、図 3、図 4）。
- 3 10 a 当たりの肥料費は、BB 肥料を用いることにより LP 肥料を用いた場合より約 40%低減する（表 1）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 アスパラガス伏せ込み促成栽培の 1 年株養成に活用できる。
- 2 本成果は園芸研究所内の砂壤土圃場で得られた結果である。
- 3 本試験に用いた BB 肥料は「BB やさい 5 号」、LP 肥料は「果さい一発」（LP100 配合）であり、 $N:P_2O_5:K_2O=22:22:22$ を施用した結果である。
- 4 品種は‘ウィンデル’（パイオニアエコサイエンス）、伏せ込み用土は「バークたい肥」を用いた試験である。
- 5 定植日は 2019 年 4 月 4 日、2020 年 4 月 7 日、掘取日は 2019 年 11 月 26 日、2020 年 12 月 2 日、伏込日は 2019 年 12 月 2 日、2020 年 12 月 3 日、栽植密度は 2019 年が畝幅 160 cm、株間 38 cm、1 条千鳥植え（1,644 株/10a）、2020 年が畝幅 170 cm、株間 38 cm、1 条千鳥植え（1,547 株/10a）、両年とも黒マルチを被覆した栽培での結果である。

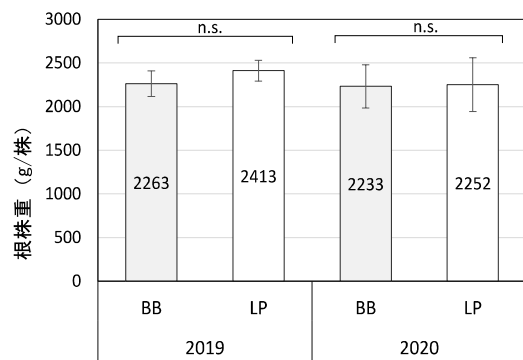


図1 肥料の種類が根株重に及ぼす影響
図中のエラーバーは標準偏差を表す

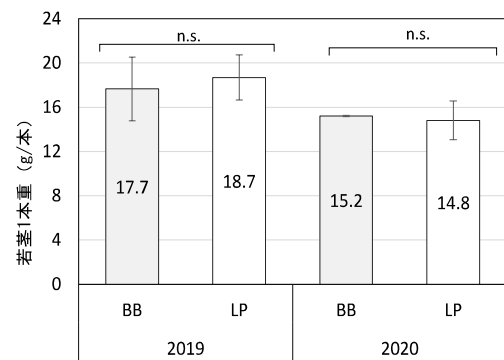


図2 肥料の種類が若茎1本重に及ぼす影響
図中のエラーバーは標準偏差を表す

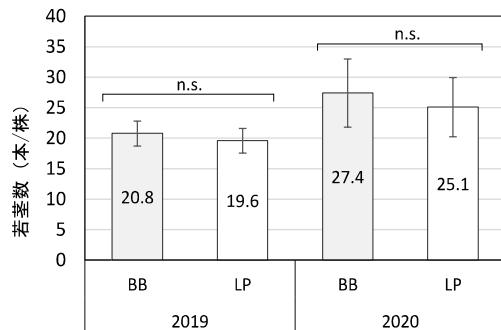


図3 肥料の種類が株当たり若茎数に及ぼす影響
図中のエラーバーは標準偏差を表す

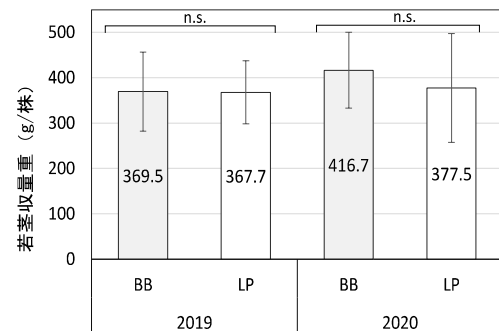


図4 株当たり若茎収量
図中のエラーバーは標準偏差を表す

表1 10 a 当たり肥料費

肥料	肥料名	成分	容量	価格	10a施肥量	価格/10a
BB	BBやさい5号	15-15-15	20 kg	2,130 円	147 kg	15,656 円
LP	果さい一発	14-14-14	15 kg	2,680 円	157 kg	28,051 円

消費税10%を加味

[その他]

研究課題名：1 億円品目を核とした耕地の高度利用のための技術開発

予算区分：県単

研究期間：2021 年度（2019～2021 年度）

研究担当者：押川友

発表論文等：なし